

病気による枯損被害軽減をめざして

カラマツ類のならたけ病が発生しやすい環境の評価

課題名(研究期間)

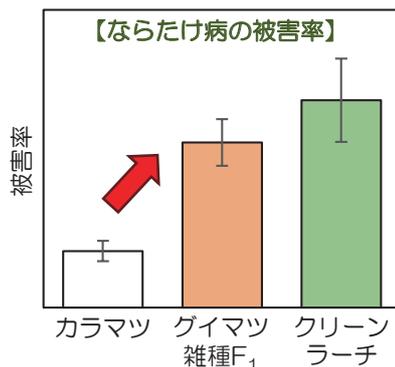
ストレス環境を考慮したカラマツ類の病虫害抵抗性の比較(2020~2022年度)
カラマツ類のならたけ病対策に向けた病原菌の特定と生息密度調査(2023~2024年度)



【ならたけ病】

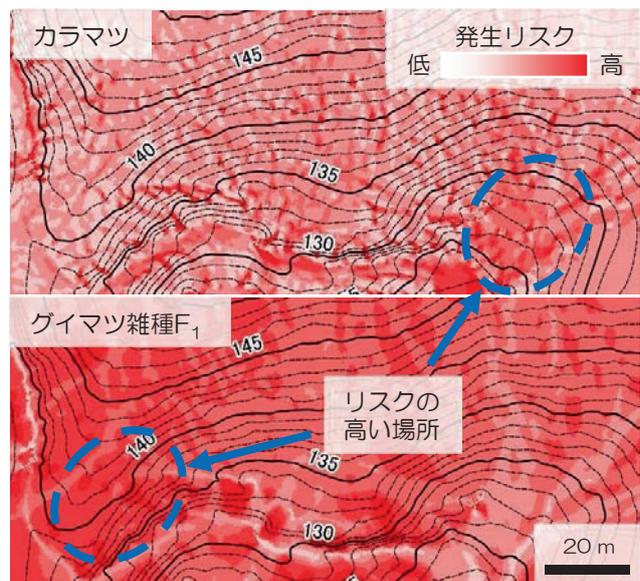
ナラタケ属菌により根株が腐る病気で、若齢木を中心に枯損被害をもたらします。カラマツ類が特に被害を受けやすく、地域によっては成林の障壁となっています。

樹種ごとの被害状況を比較



樹種ごとの被害発生場所を解析

【ならたけ病の発生リスク(同一地点)】



林内でならたけ病が発生しやすい場所はカラマツとグイマツ雑種F₁で異なっていました。

成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ■カラマツ類でのならたけ病は、カラマツよりもクリーンラーチをはじめとするグイマツ雑種F₁で発生しやすいことが明らかとなりました。 ■ならたけ病が発生しやすい環境は同じカラマツ類でも樹種によって異なっていました。環境をもとに植栽樹種を選ぶことで、被害を軽減できることがわかりました。
成果の活用	<ul style="list-style-type: none"> ■ならたけ病の見分け方をまとめ、被害の認知を進めています。 ■講演会や現地指導、関係組織への情報提供などを行い、普及啓発に取り組んでいます。
成果の公表	<ul style="list-style-type: none"> ■和田尚ら(2025) カラマツおよびグイマツ雑種F₁でのならたけ病被害に与える局所地形の影響評価. 日本森林学会誌.107(8) ■和田尚ら(2023) カラマツと比較したクリーンラーチ等の病害発生リスク. 光珠内季報.207 ■和田尚之(2023) クリーンラーチでのならたけ病と被害の見分け方. 光珠内季報.209
研究担当	林業試験場 保護種苗部保護グループ
連携機関	北海道大学
特記事項	
備考	